

平成25年上半期 火災・救急・救助 統計

上半期（平成25年1月1日から平成25年6月30日までの速報値）の火災統計は次のとおりです。

火 災

火災件数は33件増加

上半期に発生した火災は89件で昨年同期と比較すると33件増加しました。火災種別で見ると、建物火災は10件増加、その他の火災は25件増加となっています。

建物火災のうち住宅火災は19件発生し、主な出火原因は、台所の「こんろ」、居室や寝室などでの「たばこ」、「ストーブ」があげられます。また、その他の火災では、「たき火」、「火入れ」が原因により枯れ草等が燃える火災が見立ちました。ちょっとした油断が火災につながります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

このほか、「放火の疑い」による火災も発生しており、不要な物を建物の周りに置かない等、日頃から放火されにくい環境づくりに気をつけましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成25年上半期	平成24年上半期	比 較
火災件数合計（件）		89	56	33
火災種別（件）	建物火災	36	26	10
	うち住宅火災	19	13	6
	林野火災	5	2	3
	車両火災	5	10	▲5
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	43	18	25
死者（人）		4	1	3
負傷者（人）		4	4	0

出火原因

単位は件、▲は減を示す

出火原因	平成25年上半期		平成24年上半期		比 較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	5	3	4	2	1	1
こんろ	5	5	0	0	5	5
風呂かまど	0	0	1	1	▲1	▲1
炉	1	0	0	0	1	0
焼却炉	1	0	1	1	0	▲1
ストーブ	3	3	2	1	1	2
こたつ	1	1	0	0	1	1
ボイラー	1	1	0	0	1	1
煙突・煙道	0	0	1	1	▲1	▲1
排気管	0	0	1	0	▲1	0
電気機器	4	0	3	1	1	▲1
電灯・電話等の配線	1	0	0	0	1	0
配線器具	1	1	1	1	0	0
火あそび	0	0	3	0	▲3	0
マッチ・ライター	0	0	1	0	▲1	0
たき火	12	0	5	0	7	0
溶接機・切断機	2	0	0	0	2	0
灯火	1	1	0	0	1	1

火入れ	7	0	1	0	6	0
放火	0	0	2	0	▲ 2	0
放火の疑い	7	1	5	0	2	1
取灰	0	0	1	0	▲ 1	0
その他	9	0	5	2	4	▲ 2
不明・調査中	28	3	19	3	9	0
合計	89	19	56	13	33	6

救 急

軽症患者が全体の５０％を超える

上半期に発生した救急出動件数は、６，８２２件でした。事故種別では急病が４，２２３件と最も多く、全体の約６２％を占め、次いで一般負傷が１，０８２件（約１６％）、交通事故が６４７件（約９％）でした。 昨年同期と比較すると、出動件数は３１６件、搬送人員は２９７人増加しました。

救急出動全体の約５２％が軽症患者でした。軽いけがや病気（擦り傷、歯痛、風邪など）の場合などは、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが本当に救急車を必要としている貴い命を救うことになります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

▲は減を示す

区 分	平成２５年上半期	平成２４年上半期	比 較
出 動 件 数	６，８２２	６，５０６	３１６
搬 送 件 数	６，１３８	５，８５１	２８７
不 搬 送 件 数	６８４	６５５	２９
搬 送 人 員	６，２１５	５，９１８	２９７

救 助

出動件数の約半数が交通事故

上半期に市内で発生した救助件数は６１件でした。その主な内訳は、交通事故２９件で全体の約４８％を占め、次いでその他の事故１０件、建物等による事故８件、火災６件、水難事故６件、機械による事故２件でした。

昨年同期と比較すると、出動件数は１５件の増加となりました。

出動件数６１件の内、現場で活動した件数は３３件で３３人を救助しました。活動件数に入っていない２８件については、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近住民等により救出されたものです。

救助概況

▲は減を示す

区 分	平成２５年上半期	平成２４年上半期	比 較
出 動 件 数	６１	４６	１５
活 動 件 数	３３	３３	０
救 助 人 数	３３	３８	▲ ５